

## 医療・福祉リーガルリスク予防研究センター設立趣旨

1. 名称：岡山大学法科大学院医療・福祉リーガルリスク予防研究センター
2. 設置時期：平成18年10月1日
3. 設置場所：岡山大学文化科学系総合研究棟（法科大学院）内
4. 設置形態：岡山大学法科大学院の内部組織
5. 業務内容：
  - (1) 医療・福祉分野におけるリーガルリスクの予防に関する研究
  - (2) 医療・福祉分野の相談受付・解決支援
  - (3) 地域への講師派遣の窓口
6. キーワード：「中立性」「客観性」「専門性」「医療・福祉サービスの質向上の支援」「医療・福祉分野におけるよりよい当事者関係の構築支援」
7. その他：本センターは、文部科学省「法科大学院等専門職大学院教育推進プログラム」『医療・福祉に特化した地域連携型法曹教育』（平成16年度～18年度）の補助を受けて設立される。

### <設立趣旨と概要>

岡山大学法科大学院では、「地域に根ざし、地域に貢献する」法曹の育成を目指しており、重点的教育分野として「医療・福祉」関係を掲げ、地域貢献にも力を入れている。

岡山大学法科大学院が重点的教育分野とした、医療・福祉分野においては、年々紛争が増加しており、紛争解決のみならず、紛争予防が急務である。なぜなら、①紛争化してしまった場合にはその解決が長期にわたる場合が多く、当事者を精神的にも金銭的にも疲弊させてしまう。また、②紛争事例を見ると、当事者間のコミュニケーション・ギャップや法制度の理解不足ないしは誤解に起因すると思われるような紛争化を避けえた事例が多くあり、③医療・福祉分野では特に、リーガルリスクの顕在化時には、もはや回復不能な事例がある。さらに、④医療・福祉サービスを端緒としていても、実際には複数の法的問題（消費者被害や扶養、生活保護受給など）が複合的に絡み合っている場合があり、それらをトータルに

解決する必要がある。などが理由として挙げられる。

そこで、岡山大学法科大学院では、「医療・福祉」分野における上記状況に鑑み、紛争解決・予防を視野にいれた教育、研究、地域貢献活動を実施していく必要性を強く認識し、そのような活動の拠点として、本法科大学院の内部組織として標記センターを設置することとした。

標記センターは、岡山大学法科大学院・法学部教員および岡山大学法科大学院専門家ネットワーク会員を構成員として以下の活動を行う。

主な活動は、①紛争予防の観点から、リーガルリスクの事前予防のための研究活動、②中立的立場で、サービス利用者・患者・家族だけでなく、医療機関・福祉サービス事業者、その従業者を対象として、医療・福祉サービスに直接関わる法的・制度的問題はもちろん、医療・福祉サービスに関連または付随して顕在化する諸問題の相談受付・解決支援（例えば、医療機関・サービス事業者・その従業者にあつては、「個人情報保護」「労使紛争」「法人会計処理」など、患者・サービス利用者またはその家族にあつては、「成年後見制度の利用」「扶養・相続」「消費者被害」など）（なお、支援レベルで解決不能な場合には、専門職会員および法科大学院付設法律事務所の協力を得て、法的な手続で解決するというワン・ストップサービスを目指している）、③医療機関・福祉サービス事業者向けに紛争予防のために求められる対応についての研修講師派遣（例：「個人情報保護」「コンプライアンス」「リスクマネジメント」「関係法令解説」「コミュニケーションスキルアップ」など）である。

また、④法科大学院学生の問題解決能力とコミュニケーションスキルの向上のため、相談・解決支援は、「クリニック」として、依頼者の同意を前提に、教員の指導のもと学生が行うことがあり、また、匿名化した事例を「医療・福祉ネットワークセミナー」「社会保障法」等の教育で活用することとなる。

なお、将来的には、法務省のADR認証を受け得る組織に発展させ、さらに、医療・福祉分野に限らず、相続や不動産売買、隣人紛争なども含めた総合的なセンターとして発展させる計画がある。

「医療・福祉サービスの質向上の支援」のため、地域の大学が一方当事者に偏ることなく、「中立的」「客観的」立場で、「専門性」をもって、「医療・福祉分野におけるよりよい当事者関係の構築」の視座から、リーガルリスクの予防を行う試みは全国でも珍しい取り組みといえよう。

以上

【本件に関する照会先】

法務研究科：西田和弘

(086) 251-7490

岡山大学大学院法務研究科

**「医療・福祉リーガルリスク予防研究センター」設立記念シンポジウム**

**「医療・福祉におけるリーガルリスクの予防と**

**解決の将来像—専門職の連携と協働—」（仮題）**

**日時：平成18年10月28日（土）**

**場所：岡山大学文化科学系総合研究棟2階共同研究室**

**時間：午後1時～午後4時30分**

**（受付は午後12時30分より）**

**対象者：一般、法律専門職、研究者、医療関係者、福祉関係者、行政職員**

**開催趣旨の概要：**

岡山大学大学院法務研究科（法科大学院）は、「地域に奉仕し、地域に根ざした」法曹の育成をめざしてきた。その関連で、重点教育分野の一つとして、「医療・福祉分野」を挙げ、ネットワークセミナーなどの独自の法曹教育カリキュラムを構築してきた。この教育は、法科大学院教育における特色ある教育としてその促進の必要性和重要性が認められ、文部科学省「法科大学院等専門職大学院教育推進プログラム」に採用され、助成を受けている。この助成に基づいて、岡山大学法科大学院では「医療・福祉に特化した地域連携型の実践的法曹教育システム」の構築を目指し、プロジェクトを立ち上げ、今後の活動母体として本年10月1日、「医療・福祉リーガルリスク予防センター」を設立した。ここでの研究と実践により実践的法曹教育システムのさらなる改善と発展をめざしている。そこで、今回、このセンターの設立を記念して、「医療・福祉におけるリーガルリスクの予防と解決の将来像—専門職の連携と協働—」と題するシンポジウムを開催することにした。このシンポジウムは、以下のような現状認識と問題意識に基づくものである。

近時、医療・福祉分野においては、患者や福祉サービス利用者の権利意識の向上や医療事故や介護事故への社会の関心の高まりなどを背景に、年々紛争が増加している。しかし、紛争化してしまった場合にはその解決が長期にわたる場合が多く、当事者を精神的にも金銭的にも疲弊させてしまうこと、紛争事例を見ると、当事者間のコミュニケーション・ギャップや法制度の理解不足ないしは誤解に起因し、その点を改善すれば、紛争化を避けることができたと思われる事例が多くあること、医療・福祉分野では特に、リーガルリスクの顕在化時には、もはや回復不能な事例があることなどの現状を認識するに至った。その結果、医療・福祉分野での紛争においては、事後的に紛争を解決することだけでなく、未然に事故やそれに伴う紛争を予防することが非常に重要であること、また、事故や紛争から学ぶことがよりよい当事者関係の形成につながり、医療・福祉サービスの質の向上をもたらすとの問題意識を有するに至った。本シンポジウムは、このような現状認識と問題意識に基づき、これまでの医療分野の裁判外紛争解決の取り組みについての共通認識を形成し、そこから浮かび上がるリーガルリスク予防の重要性和その課題を明らかにして、リス

ク予防のための関係専門職の連携と協働のあり方を探ることを目的として、開催する。

また、岡山大学法科大学院では、このようなリーガルリスクの予防という局面で法曹をはじめとする各専門職がどのような役割を有し、どのように連携すべきかを中心に検討し、そしてそれを法学教育の中で取り入れることを目指している。このことは、とかく紛争解決教育を中心とせざるを得ない法曹教育に、新たな境地を拓く試みとなると考える。このシンポジウムは、新たな法曹教育の魁になるものとも考えている。

なお、今回は、時間の関係上、医療を中心に取り上げるが（福祉分野については昨年度類似のテーマでシンポジウムを行った）、医療での議論は福祉分野でもそのまま当てはまる場合が多く、福祉のサービス提供者にとっても参考となるはずである。

シンポジウムのスケジュールは以下の予定である。

<タイムテーブル>

1. 開会の辞

2. 趣旨説明（午後1時10分～20分）

3. 基調講演（午後1時20分～2時20分）

①午後1時20分～1時50分

池永満氏（NPO 患者の権利オンブズマン理事長・弁護士）「患者の権利オンブズマン活動——苦情相談の実践報告と課題」（仮題）

②午後1時50分～2時20分

盛宮喜氏（日経メディカル顧問）「アメリカにおける医事紛争の現状と訴訟以外の解決方法」（仮題）

\*\*\*\*\*

4. 休憩（10分間）

\*\*\*\*\*

5. シンポジウム（午後2時30分～午後4時30分）\*途中10分程度の休憩を挟みません。

メインテーマ：「医療・福祉におけるリーガルリスクの予防と解決支援——専門職の連携と協働」（仮題）

シンポジスト：

森脇正氏（岡山県弁護士会・弁護士）

保科英子氏（岡山大学医学部・医療安全管理部ゼネラルリスクマネージャー）

西元晃氏（医療法人慈生会法人管理部長、岡山大学法科大学院専門家ネットワーク会員）

盛宮喜氏（日経メディカル顧問）

池永満氏（NPO 患者の権利オンブズマン理事長・弁護士）

コーディネーター：西田和弘（法務研究科助教授）

6. 閉会の辞

主催：岡山大学大学院法務研究科（法科大学院）

岡山大学法科大学院専門家ネットワーク

\*\*\*\*\*

問い合わせ先

700-8530

岡山市津島中3-1-1 岡山大学法科大学院資料室

電話（086）251-8413

（医療・福祉リーガルリスク予防研究センター事務局兼用電話）

\*\*\*\*\*